

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。



甲斐工業部会会長インタビュー

海外市場も選択肢に 「ピンチをチャンスに変えろ」

ロボ関連技術の
ニーズ高くなる



インタビューに答える甲斐部会長

今年の地域経済は。2020年の東京五輪開催などで景気回復に期待が高まるなか、米トランプ政権の誕生でTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の発効が不透明になるなど、懸念材料も払しょくできない。こうしたなか、2017年の景気展望や工業部会として今後、どのような活動をするのか。甲斐美利部会長（向洋技研社長）に聞いた。

「米トランプ大統領が誕生し、日本お製産業にとってビジネスチャンスとされたTPP離脱を表明しています。為替も安定はしないですし、工業を取りまく環境はどう変化するでしょうか？」

「確かに、今までと違う方向に流れているので、正直戸惑いを感じています。何が起ころかわからない状況です。とはいえ、消極的な考えにはなりません。『ピンチはチャンス』と考える必要はないと考

「日本にとってチャンスが来ていると思いません。若い人が減っている、そして、その若い人たちは工業に目がむかない。そうなるとう人件費の安い海外企業と価格競争力で勝負するにはロボットしかないですから。今まで以上に自動化や産業用ロボットに対するニーズが増えます。市内工業系企業の技術が、この分野に売り込める可能性は高いといえます」

21日に会員交流大会

KIZUNAプロ主催

工業部会会員の情報やネットワークづくりを目的とした「会員交流大会（工業版）」が2月21日（土）午後6時半～同8時半まで、市立産業会館で開かれる。相模原の工業人たちに垣根を越えた交流を持ってもらうことで、部会活動の活性化につな

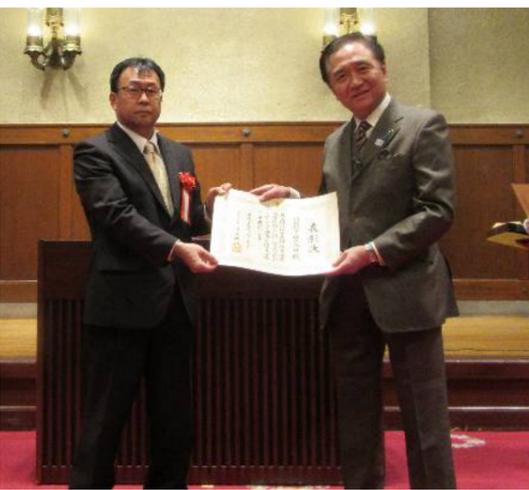
「TAMAブランド」 相模原の2社が認定

コバヤシ精密とAZエンジ受賞

一般社団法人・首都圏産業活性化協会（TAM A協会）の2016年度「TAMAブランド認定企業」に、相模原からAZエンジ（アズエニ）とコバヤシ精密工業（南区大野台）の2社が選ばれた。

同事業は、①イノベーション志向②ローカル連携・グローバル連携の推進③GNT企業の創出④環境配慮ものづくり⑤ビジネスの自立循環「など」を実現している」と評価された企業として認定された。今回は相模原の2社を含め計29社が認定された。認定料は1社2000円（1社2人まで）。定員50人。問い合わせは、産業振興課・高井042（753）8136まで。

県の「平成28年度優良工場」 相模螺子が見事受賞



黒岩知事から表彰される久保田社長（左）

ものづくり産業の発展に貢献している企業を顕彰する「平成28年度優良工場」（県主催）に相模原市内から唯一、工業部会員の相模螺子（緑区橋本台）が選ばれた。

同社は、高度な生産技術により、ステンレスを中心とする金属部品の切削加工や作業工具「ケールカッター」の一貫生産などを手掛けている。東京工芸大学デザイン科との産学連携を行いながら、力の弱い人でも容易にペットボトルのふたや缶ジュースのふたを開けられる自動具の自社製品を開発。関連して経営革新計画の承認を受けるなど、新分野に取り組む姿勢が評価された。



写真は ApeosPort-VI C7771 です。



クラウドとつながること。それは、あなたの仕事が広大な可能性とつながることでもあります。より効率的なビジネスコミュニケーションを通じて、日々の煩わしい業務からあなたを解放し、本来の業務の加速を支援する富士ゼロックスの Smart Work Gateway。さまざまなデバイスやクラウドサービスとの幅広い連携力によって実現するスマートな業務環境づくりこそ、これからの時代を戦う強さと勝ちを生み出す最善の戦略です。すべてのビジネスが向かうべきひとつ先の次元へ。その扉を、いまご一緒に。

SMART WORK GATEWAY 始動

富士ゼロックス神奈川株式会社

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-4-2 横浜ブルーアベニュー 13階
TEL 045-681-1101 (代表) www.Fujixerox.co.jp/knx/